

化学療法レジメンセット 登録用紙

コード : N-95m
 レジメン名称 : PEM+Amivantamab維持療法(80kg未満)

☒ 新規
☐ 変更

提出日 : 2025 年 2 月 1 日
 承認日 : 年 月 日

適応がん種 : 非小細胞肺癌

医 長 名 : 呼吸器内科 島田 昌裕

インターバル日数 : 21日

申請医師名 : 呼吸器内科 島田 昌裕

予定コース数 : PDまで

確認薬剤師名 : 製剤主任 植木 大介

Rp.No.	癌	薬 剤 名	投 与 量	手 技	投 与 経 路	点滴時間・速度	day(1)
1		デキサート注(デキサメタゾンとして) 生理食塩液50mL	9.9mg 1本	点滴静注	末梢メイン	15分	Rp1 15分 DEX9.9mg +生理食塩液50mL ↓ Rp2 10分 ペムトレキセド注 生理食塩液100mL ↓ Rp3 15分 アセリオ点滴静注 ↓ Rp4 15分 ポラミン注 生理食塩液50mL ↓ Rp5 2時間 ライブリバント点滴静注 生理食塩液250mL ↓ Rp6 5分 生理食塩液50mL
2	*	ペムトレキセド注射用 生理食塩液100mL	500mg/m ² 1本	点滴静注	末梢メイン	10分	
3		アセリオ点滴静注	1000mg	点滴静注	末梢メイン	15分	
4		ポラミン注5mg 生理食塩液50mL	1A 1本	点滴静注	末梢メイン	15分	
5	*	ライブリバント点滴静注 生理食塩液250mL	1750mg 1本	点滴静注	末梢メイン	2時間	
6		生理食塩液50mL	1本	点滴静注	末梢メイン	5分	

上記表にて設定する抗がん剤について

Rp.No.	薬 剤 名	設 定 値	上 限 値
2	ペムトレキセド注射用	500mg/m ²	
5	ライブリバント点滴静注	1750mg/body	

<特記事項>
 ①ペムトレキセド使用レジメンのため、治療開始7日前よりバンビタン、フレスミンを使用する。その後バンビタンは連日内服、フレスミンは9週毎に投与する。ペムトレキセド最終投与後、3週間は投与する。
 ②オンメルチニブによる治療中、または治療後に病勢進行したEGFR遺伝子変異(Ex19またはL858R)陽性の局所進行または転移性非小細胞肺癌を対象
 ③ライブリバント副作用発現時は下記の通りに減量する。1750mg→1400mg→1050mg(ライブリバントを1Vずつ減量する)